



表紙のことば

今月の学校は、寿大学です。今年度の受講生は、154名。15ページに関連記事。5月24日撮影

広報 ふのえ

もくじ

市町村合併を考えるNo.4.....	2	田舎暮らし・	
第2回豊かな国の森づくり大会/ 林業技術コンテスト.....	6	あたらしい生活.....	13
大分県野鳥友の会30周年.....	7	櫻田.....	14
教育委員会だより.....	8	まちの話題/交通安全.....	15
さわやか!九星の風.....	9	くらしの情報.....	18
保健・福祉.....	10	幸せになろうね/当番医.....	20
環境/こちら119番.....	11	歳時記・ふるさと再発見.....	21
男女共同参画/映画.....	12	人の動き・ふれあいタイム.....	22

「市町村合併を考える行政区懇談会」がスタートします。

みなさんの声を聞かせてください

私たちが直面している市町村合併問題は、地方自治の精神に基づき、取り組まなければなりません。地方自治とは、住民のみなさん、議会、そして行政が一緒に考え「みんなの意志」としてまちづくりをしていくものです。しかし、現実を見ると、まず合併ありきの感が非常に強いようです。このままずるずると合併したのでは、住民のみなさんと決めたとは言えず、これからの地方自治を進めていく上で、大きな痛手となる可能性があります。合併問題は、住民のみなさんにとって、身近で、とても大事な問題です。6月下旬から各行政区を回って住民のみなさんの意見を聞く、懇談会を開きます。住民のみなさん一人ひとりが主役です。今回は、合併のメリット（利点）とデメリット（欠点）をお知らせします。みなさんの判断をいただく材料です。また、今回お知らせするメリット・デメリットは、一般的に言われているものです。というのも合併をするとしても、合併先の市町村によっては、デメリットがメリットになる可能性があるためです。このため、合併の是非だけでなく、もし合併するとしたらどこの市町村と、まで考えなければなりません。

市町村合併5つのメリット（利点）

サービスの高度化・多様化ができます

小さな町では、なかなかできなかった施策（女性・国際化・情報化など）専任の組織・職員を置くことができます。また、保健や土木など専門的な知識を持つ職員を置くことができ、より充実したサービス提供が可能になります。地方分権時代（5ページ記事参照）を迎え、市町村は、その責任の下、住民の要望に対応した施策を次々に実現する必要があります。このため、人材の確保が必要です。合併により、地域間競争にも耐えられる施策の展開ができます。

住民の利便性が向上します

公共施設を広域的に利用することにより、それまで利用しにくかった公共施設が利用しやすくなります。また、学区の変更が可能になったり、

仕事場の近くの保育所や保育園に預けやすくなったり、健康診断が受けやすくなったり、行政サービスの拡大も考えられ、その面でも便利になります。

行財政が効率化されます

総務や企画部門等の管理部門の効率化ができ、サービス提供や事業実施部門に手厚く職員を置くことができます。職員数も全体的に少なくなできます。一方で、研修等の円滑な実施が可能となり、職員の質が向上し、全体的な行政レベルが向上します。

さらに、三役や議員、各種委員会・審議会などの数を減らすことができ、その分経費も節約できます。また、広域的観点からスポーツ・文化施設などの公共施設が効果的に設置され、無駄な設置をしなくて良いようになります。

予算を効率的・重点的に使えるようになります

予算規模が拡大することにより、重要な事業に予算を重点的に回すことができますし、大型プロジェクトも可能となります。同じモノを作るにしてもこれまでよりグレードの高いモノを作ることができます。また、合併特例法による合併債の発行や、地方交付税の優遇を受けることができます。財政基盤が安定し、行政サービスの充実や安定ができます。

新しいまちづくりが可能となります

全く新しいまちづくりを第一歩から始めることとなり、住民にとって、ふさわしいまちづくりが可能になり、地域のイメージアップにもつながります。地域が広くなるため、全体を見通したまちづくりを効果的にできます。また、存在感も向上し、企業の進出や若者定住も期待できます。

市町村合併5つのデメリット(欠点)

住民の声が届きにくくなるおそれがあります

21世紀は地方の時代といわれています。今後地方自治の意義は高まります。ところが、合併することにより(住民の代表である)議員数等も削減され、住民の意見が届きにくくなるおそれがあります。また、規模が大きくなることにより、意見が届きにくくなる可能性があります。

施設・サービスの地域格差が出るおそれがあります

中心部だけが栄え、周辺部が寂れる、というのがこれに当たります。確かに合併当初は、現在の公共施設などを支所等として設置、職員も配置されるはずですが、しかし、やがては、合理化の下、職員が削減され、さらには支所等が廃止されるおそれがあります。

特に周辺部については、サービスを提供する場所が、住民の身近から離れるおそれがあります。住民の意見を町へ届ける場所としても、支所等の果たす役割は大きく、「住民の声が届きにくくなる」おそれがあります。

きめ細かなサービス提供が困難になるおそれがあります

今後高齢者等が増えることが見込まれており、福祉のきめ細かな充実が求められます。サービスを提供する側と、受ける側が近い方が、声も届きやすく、きめ細かなサービス提供が可能です。しかし、合併後の町が効率化を最優先したとき、きめ細かなサービス提供ができるか疑問です。福祉や環境、農業といった問題は、効率化だけでは考えることのできない問題です。合併により、これら重要な問題への取り組みがおろそかになる可能性があります。

新たな財政困難を生じるおそれがあります

合併をした市町村については、合併特例債を受けるメリットがあります。これは、あくまで借金です。100の事業をしたとすると、その95%を特例債で発行することにより資金調達することができ、5%については町のお金を調達。特例債95%のうち、70%については、地方交付税で見てもらえます(つまり国から来るお金で返済することができ)。しかし、残りの30%については、あくまでも町の借金です。返済をしなければなりません。合併したからと言って、合併特例債で次々に事業に取り組みと将来その返済のため、財政危機が生じるおそれが出てきます。

これまで培ってきた九重町のまちづくりが無駄になる可能性があります

九重町が生まれて47年、これまで住民のみなさんと一緒に作ってきたこの町は、他に誇れる素晴らしい町といえます。観光や農業についても「九重ブランド」が確立されており、合併によりこの名前が消えていくのは、大変残念だと言えます。確かに、合併しても名前を残すことはできますが、これまで作ってきた「九重のまちづくり」は、合併後も残されるか疑問です。特にこれからは、農村集落の持つ良い部分(助け合いの精神)を活かすまちづくり(ボランティア・協働社会の実現、地域の自治機能の充実)が必要です。果たして合併後の町で農村の良さを活かすまちづくりができるのか、疑問です。

*ここにあげたデメリットについては、あくまで、おそれがある、可能性はある、というものです。合併をするとしても、このようなデメリットの解消に向けた取り組みを住民のみなさんと共に行うことは言うまでもありません。

地域づくり

推進事業を補助します

対象となる事業

地域内の親睦やイベントなどを通じて継続して取り組まれている事業で、地域づくりのために自主的に取り組み、地域の活性化に効果があると認められる事業。

補助対象経費など

事業に必要な経費で、会議費や食料費は補助対象外です。

補助率など

補助率は、補助対象経費の1/2以内で、1事業あたり5万円まで、3年間を限度とします。

申請など

補助金を受けようとする人は、申請書(企画調整課にあり)に事業計画書などを添えて提出してください。

応募締切

7月31日(水)

提出・お問い合わせ先
企画調整課地域振興係

☎ 613807

5月20日、玖珠郡の2町は、市町村合併についての調査研究・検討を行うための「玖珠郡任意合併協議会」を設置しました。

なぜ「任意合併協議会」を設置するのですか？

国の「市町村合併特例法」に定められた市町村合併のさまざまな手続きを行う期限は、平成17年3月31日までとなっています。将来の自分たちの地域での暮らしを考えた上で、合併するか、しないか。合併するとしたらどのような「まち」をつくるのか等の重要な決定をしなければなりません。

玖珠郡では、平成13年12月に2町で合併について話し合う「新しい町づくり研究会」を設置しましたが、時間が限られている中、さらに踏み込んで合併につ



て調査・研究をしていくためには、「任意協議会」の中で作業を行うべきだと判断し、設置をしました。

なぜ玖珠郡で「任意合併協議会」を設置するのですか？

平成12年12月に、大分県は「市町村合併推進要綱」を作成し、県内を14の地域にまとめる案を提示しました。これは社会・文化・経済・生活のつながりをもとに考えられたものですが、「玖珠郡の2町が1つの地域としてまとまるべきではないか」という案が示されています。

また、玖珠郡の2町では、現在でも行政サービス部門（消防・ゴミ処理施設・し尿処理施設・耳鼻咽喉科医院・火葬場・老人ホーム・介護保険審査）で、事業を行っています。

そこで、すでに様々なつながりのある「玖珠郡の2町で合併したらどうなるか」について、具体的な調査・研究を行っていくことにしました。

「任意合併協議会」では、何をやるのですか？

「任意合併協議会」は、玖珠郡の2町の行政・議会を構成しました。2町の担

当者と大分県職員による事務局を設置して協議を行い、その中で住民のみなさんが合併について判断するため資料を作成します。

2町の様々な指標（人口・産業・財政状況など）を比較・検討することから始め、どのような町（市）をつくるか（将来ビジョン）についての概要の策定、合併後の福祉や公共サービスなどをどのようにしていくのか（合併協定項目）についての調整等を行っていきます。

合併後の地域の姿について、漠然とした形ではなく、より具体的にイメージすることができるようになります。それらの情報をもとに住民のみなさんと「これから自分たちの暮らししていく地域をどのようにつくっていくか」についての話し合いを進めていくこととなります。

「任意合併協議会」を設置したら、玖珠郡2町での合併が決まってしまうのではないですか？

「任意協議会」では、もちろん「玖珠郡2町での合併」を前提として、「合併したら（しなかったら）どうなるのか？」についての研究・検討をしていくこと

になります。しかし、「検討する、すなわち玖珠郡2町で合併しなければいけない」ということではありません。

話し合いを進め、住民のみなさんとの議論の中で、合併することにより大きな支障が様々出てくることわかったり、基本的な部分での合意が難しかったりする場合に、「2町で合併することはできない」という結論が出されるかも知れません。あくまで最終的な合併の是非は、住民のみなさんの合意に基づいて決定されるものです。

今回、3年間という期間が区切られている中、スピーディーに、最もわかりやすい形で、「合併したらどうなるのか？（将来ビジョン）」を描いていくためには、「任意協議会」の中で検討していくことが最善であると判断し、その設置をしました。



▲左から（玖珠町）安瀬議長、小村町長（九里町）坂本町長、安部議長

町民のみなさんと坂本町長の対話
Q&A
どうなる？ 市町村合併

Q1 新聞に玖珠町との合併を協議する会ができたという掲載されましたが、2町合併していくという方針はいつ決まったのですか？

A（町長）5月8日の新聞に「玖珠郡任意合併協議会」設立についての報道がありましたので、このことを指しているものと思います。ご指摘のように新聞記事からしますと両町の合併が決まったかのよう受け取られますが、任意合併協議会は「合併の可否」を含めて議論をする場ですから玖珠町との合併が決まったというわけではありません。これから行政区域調整会などを開き町民のみなさんの声を十分にお聞きし、合併対策協議会などで慎重に検討を重ね、2町だけで合併することがお互いの発展にとって最善なのか。場合によっては、2町を含めたもっと大きい合併を検討すべきなのか真剣に議論を深めて行きます。

（おおびと町長）

5月号で「市になった場合の負担」についてお答えしましたが説明不足がありました。「負担は大きくなることはない」と申し上げましたが、これまでの先例を見ますと、負担は低い自治体に合わせ、サービスは高い自治体に合わせて合併後はスタートをしています。しかしその後の行政改革などで変わることも否定はできません。また、税金については、現法で「人口が5万人を超える」と均等割（税率）が500円増えることになっています。



第2回

豊かな国の森づくり大会



5月11日、泉水グリーンパークを中心に第2回豊かな国の森づくり大会（大分県・大分県緑化推進センター主催、九重町共催）が行われました。この大会は、森林の持つ働き的重要性を改めて思い起こし、その恵みに感謝し、県民一人ひとりが森林を守り育てる活動をしよう、と昨年の久住町から始められたものです。この日は、県内だけでなく、県外からも漁業関係者などをはじめとした約1,600名もの参加者で賑わい、記念植樹などを行いました。大会の中で大分県知事は「森林は、木材産物を生むだけでなく、国土の保全、都市住民の保養・休養、さらには、地球温暖化防止の役割を持っている。林業を取り巻く状況は厳しいが、緑豊かな森林を見直す気運が高まっている」とした上で、次の提言を行いました。

1. 森と水が地域の活力を生みます。昔は、山しかない、緑、水しかない、とたく消極的にとらわれがちでしたが、それらは、かけがえのない財産だと改めて認識し、積極的に活かすことが重要です。これを地域力と呼んでいます。今までは、都市力の時代でしたが、これからは、地域力の時代です。
2. 森林の持つ役割を積極的、そして広範囲に評価する必要があります。山は海の恋人です。上流と下流が一緒になって森を守ることが大事です。
3. 森林の持つ地球温暖化防止の機能を考えたとき、アジア全体のことを考えなければなりません。そこで「アジアの空を美しくしよう、アジアの国々に木を植え、緑豊かなアジアの創造をしよう」と呼びかけています。アジア各国にグリーンネットワークを築く必要があります。

大会では、地元小学生から飯田小学校6年生 甲斐末都（みさと）さんが緑のメッセージを発表しました。



甲斐末都さん
(北方下)

飯田のきれいな森

飯田の森に立つと風で木のゆれる音や小鳥のさえずりが聞こえて気持ちがいいです。それに、飯田といったら、やっぱり広い高原とおいしくてきれいな空気です。わたしは、この飯田に生まれてよかったと思います。

もし、飯田の木たちと話せるなら、いろんな話をして木のなやみを聞いて少しでもなくしたいと思います。

たとえば、「飯田の空気はどうですか？」

木が答えて「ここの空気はとってもいい。」と言ってくれたら、いつまでもいい空気をたもてるように、森の中におちているゴミをひろってあげたり、新しい木を植えたりしたいです。

また、タバコやゴミのポイ捨て禁止や木や草花を大切にの看板を立てたりしたいです。

森がわたしになにかしてくれるなら、太く大きな木になってくれるとうれしいです。

森さん、これからも一緒に飯田の自然をもっとふやしていきたいと思います。

平成13年度

大分県林業技術コンテストに 九重町から2名が受賞

大会当日、大分県林業技術コンテストの授賞式もありました。大分県知事賞として、今年は11名が受賞しましたが、そのうち九重町からは2名が受賞しました。



吉光 仁さん（桐木4）
《育林・間伐部門 日本林業技術協会長賞を同時受賞》
昭和30年ぐらいから林業一筋でやってきました。現役です。長い間やってきたことの集大成と思っています。大変光栄です。



左藤喜三郎さん（後河内）
《苗畑部門 大分県樹苗生産農業協働組合長賞を同時受賞》
親の代からですから、私で2代目です。今年は特に自信作でした。そこが評価してもらえたと思います。林業全体が不振で、苗木も順打ちです。これからも植林の推進をお願いしたいと思います。こういった催しで、森林の大切さを啓発するのは良いことだと思います。

大分県野鳥友の会30周年

大分県野鳥友の会が30周年を迎え、その記念式典が、5月19日、飯田高原コスモス荘で行われました。この会は、1972（昭和47）年5月に結成され、探鳥会を始め、野鳥保護の集い、目録の作成などさまざまな活動を行ってきました。会長は、武石千雄さん（玖珠町）が、設立以来務めており、現在の会員は約350名です。この日の式典では、約60名が参加、日本野鳥の会 普及室長 安西英明さんの講演などが行われました。

九重町で観察できる野鳥は、180種類あまり、ここ数年は、南から渡来する夏鳥（キビタキ、クロツグミ、サンコウチョウ、アサショウビンなど）の減少が激しいようです。これは、東南アジアの森林が減ったことが原因ではないかと言われています。日本だけでなく、地球全体を見た環境保全運動の大切さを改めて感じます。

「環境の世紀に野鳥を楽しむ～ その意義と楽しみ方さまざま」

日本野鳥の会 普及室長

安西英明さんの講演から

まちづくりを支えているのは、文化・歴史です。地域の文化・歴史は、地域の自然が作ったものです。地域の自然を考えないまちづくりは、あり得ないと思います。

私たちの身の回りには、まだわからないことがたくさんあります。日本には、鳥が約550種います。虫は、3万種いると言われていますが、実際は、10万種を越えると考えられています。これを地球上で見ると、鳥が約9,000種、ほ乳類が4,000種、生物種併せて200万弱いると今わかっています。しかし、熱帯雨林だけでも3,000万種の生物種がいると言われており、その数はつかめていません。

私たちの身近にいる、スズメやカラスについても、わからないことがたくさんあります。たとえば、スズメのはねの枚数。これもわかっていません。2,000から3,000枚ではないかといわれています。

私たち人間は、生き延びるのは当たり前、と考えていますが、これは、人間だけに言えることです。大量生産・大量消費の生活に乗りかかり、生き延びて当たり前、という発想に怖さがあると考えます。

宇宙の歴史は、130億年といわれています。地球は46億年です。46億年を1年にたとえてみたいと思います。人類の遠い祖先、魚類が誕生したのが5億年前。これを1年にたとえると11月21日になります。鳥類が1億3千万年前で12月20日。人類の祖先はアフリカで生まれたと言われますが、300万年前で12月31日の18時17分。人口が増え始めたと言



▲安西英明さん



▲武石千雄さん
武石さんは、九重自然を守る会副会長でもあります。

われるのが1万年前で12月31日、23時58分51秒。縄文時代が12月31日23時59分26秒。明治維新となると、23時59分59秒。

人類の歴史の短さがわかると思います。この歴史の短さは、まだどうにかできる可能性を秘めていると考えられるのではないのでしょうか。

消費ピラミッドというのがあります。鳥の世界で見ると底辺にるのが植物、その上に虫、小鳥、鷹という風になります。その数は、下に行くほど小さくなくてははいけません。

消費ピラミッドの頂点に立つのが人間です。だからこそ、人間の自然バランスを保つ役割は重要なのです。人間の存在自体が悪いわけではありません。生きていることのすこさ、すばらしさ、その背景には、どれだけの命があるのか考える必要があります。

持続可能な自然の仕組みを学んで配慮する社会の実現が求められています。

人類は、大きな分岐点に立っています。あるがままの自然を楽しみ、鳥や花、虫などを観察しながら、持続可能な人類の未来を知ること、大変意義のあることです。

日本野鳥の会ホームページ <http://www.wbsj.org>

大分県野鳥友の会についてのお問い合わせは

097-583-4497（狭間町 志賀伸幸さん）まで

安西さんの講演より

自然の恵みの原点は、太陽の光です。太陽光線は、太陽の中心から表面に出てくるまでに4千年かかるそうです。太陽の光が地球に届くまでが8分ちょっと。つまり私たちが浴びている太陽の光は、8分と4千年前に生まれた光なのです。



写真提供：志賀伸幸さん
▶コマドリ



南山田小学校

南山田小学校は、101名の児童と14名の教職員が充実した1日1日を積み重ねている小学校です。

「自ら学び、心豊かで健やかな児童の育成」を教育目標に掲げ、子どもを中心に、学校・家庭・地域が一体になって、創意に満ちた学校づくりをすすめています。

めざす子ども像は

- すすんで学ぶ子ども ○工夫する子ども
- 思いやりのある子ども ○がんばりぬく子ども です。

たてわり班での諸活動でリーダーシップやフォロワーシップ^{注1}を、体験を通した実感の中で学び合わせ、「生きる力」育成の基盤にすえています。また、今年度から配置された児童支援加配教諭（人権・同和教育主任）を中心に、T・T^{注2}等きめこまやかな指導のあり方を工夫して、基礎基本の充実に努めています。朝読書の取り組みは、13年間続いています。

11月には文化祭があります。保護者のみなさんの結束も強く、地域と一体になったすばらしい企画です。子どもたちの総合的な学習の時間や人権・同和学习などでの学びを発信する場として、毎年すばらしい成果をあげています。子どもたちを情報の発信者、表現者の立場に立たせることで、自ら学ぶ力をいっそう鍛えることができます。



遠足

スポーツもがんばっています。南小ファイターズは、全日本学童大会玖珠郡予選大会優勝、スポーツ少年野球大会玖珠予選大会優勝と、快進撃を続けています。

さらに今年度は、文部科学省の「地域ぐるみの学校安全推進モデル事業」の委嘱を受けています。もはや、子どもの命は学校だけで守るのは難しいという認識に立ち、大阪・池田小学校のような悲劇が二度と起きないよう、地域ぐるみで、子どもの命をいかに守り、健全に育てるかが与えられた課題です。「生命の尊さを自覚し、健康で安全な生活を創造する児童の育成～体験活動を重視した『地域ぐるみの学校安全』の実践を通して～」を研究主題に、教職員一丸になって、研究を立ち上げました。

南小は、子どもたちも教職員も「あしたも来なくなる学校」をスローガンに、がんばっています。さわやかな笑顔あふれる学校です。



壁校作業

注1：リーダーシップとフォロワーシップ～「みんなを引っ張る力」と「あとから押す力」

注2：チームティーチングの態。ふたり以上の先生がチームを組み授業を行うこと。

さわやか！九重の国 ～キャンペーンレディ

今年も九重町を紹介するのにふさわしい女性が選ばれました。

九重町では、観光宣伝のためのキャンペーンレディを募集しています。15回目となる今年からは、仕組みが少し変わりました。これまでは、任期1年で毎年2名を新たに選んでいましたが、今年から任期を2年とし、毎年交互に1名が新しく選ばれるようになりました。今年1年については、新しい仕組みへ変わる年のため、昨年から引き続きの2名（残り任期は1年）と、今年新たに1名（任期は2年）、合計3名がキャンペーンレディとなります。

それぞれに九重町の好きなおとこ、抱負などを聞きました。



佐藤 優子 さん

（滝上 ＊昨年から引き続き）

九重町は、四季を通じてイベントがあり、年間を通じて飽きさせないのがいいですね。飯田高原とかをドライブするのもいいですね。1年間いろいろなところに行って楽しかったです。九重町のことを、より知ることが

できました。今年も引き続きがんばります。九重町は、これからもゆっくりできる町であってほしいです。



菅 和美 さん

（下笠5 ＊昨年から引き続き）

九重町は、温泉がいいです。普段からよく行っています。キャンペーンレディになったきっかけは、父の推薦なのですが、やってきてよかったな～と思います。緊張することも多かったのですが、周りの人に助けても

らいました。観光客が減ってきているので、いいところをいろいろ見つけ、もう一度来てもらえるようにしたいです。



馬場美由紀 さん

（無田下 ＊今回からキャンペーンレディになりました）

九重町の好きなおところは、自然と温泉が豊かなところですね。いつも自慢しています。今以上に九重町のことを知って、たくさんの方に来てもらいたいです。がんばります。

＊九重町で採れる食べ物で好きなのは？
という質問を3人に行ってみました。

佐藤さんは野菜特に何もつけずに食べるトマト、菅さんはシイタケ、そして馬場さんは高原キャベツにとやまみ牧場の乳製品、だそうです。

九重町観光協会総会開催

5月16日、役場301会議室で九重町観光協会（会長 熊谷薫さん）の総会が行われました。協会の名譽会長でもある坂本町長は、「今ほど将来に不安を感じる時代はない。景気も低迷している。このようなとき、ヒントになるのがフランスの取り組みである。フランスは、バカンスという長期休暇制度を設けることにより雇用創出を行い、失業問題を解決した。今こそ観光業ががんばらなければならぬ時代ではないか。」とした上で、九重町は8つの観光協会がある。お互いに競い合って時代に対応した観光業を作ってもらいたい、とあいさつしました。

総会では、昨年度の実績を報告したあと、今年度の取り組みについて話し合いが行われました。今年度についても九重町の素材を活かし、知恵と工夫を重ねた誘致活動に取り組むことを確認。具体的には、広域での宣伝活動や、修学旅行の誘致、九重町の観光施策への積極的な支援を行うとともに街路灯や看板設置などを通して観光地としてのイメージアップづくりを目指すこととしました。

なお、当日は、優良従業員表彰として次の方々が表彰されました。

藤原 照子さん（後述）

（龍門 滝の湯 15年勤続）

若杉 月子さん（口の園）

（食事処 春日 11年勤続）

帆足 教子さん（寺田）

（九重ラベンダー園 7年勤続）

広報「このえ」5月号へ、お詫びして訂正します。

6ページ（誤）地籍調査係（正）地籍調査係

15ページ（誤）嗜好（正）趣向





保健・福祉

あなたの歯(健康)大丈夫?!

8020



歯の健康は体全体の健康につながります。

「毎日、正しくブラッシングを行い、食事に気をつける」そして「定期的に歯科検診を受けて、虫歯や歯周病(歯槽膿漏)の早期発見に努める」これが歯の健康を守るキーポイントです。

歯周病を防ごう

歯周病を予防する8つのポイント

歯周病は、心掛が次第で良いにめられます。歯科検診とともに、毎日以下のことに注意を。

- 1 食べたら歯を磨く習慣をつける
- 2 外出先や働く場所が遠いときは、せめてうがいをする
- 3 定期的に歯医者さんで歯石をとってもらう
- 4 歯ぐきの腫れや痛み、出血をこめない
- 5 バランスのとれた栄養を摂り、とくに歯肉を強くするビタミンCを摂る
- 6 歯ぐきのひびく人は早めに治す
- 7 歯に食べかすを残さず、よく磨いてさっぱり食べる
- 8 歯ぐきのマッサージなどで、歯ぐきの血行をよくする

8020運動 (80歳で20本の歯を残そうという取り組み)

が全国で行われています。

★九重町の高齢者の歯の状況は、どうでしょうか。



年齢を重ねる毎に歯の本数が減っています。特に、女性の歯の本数が少ないようです。

歯を失う原因は、第1位 歯周病
第2位 虫歯

虫歯を防ごう

★九重町の子どもたちの虫歯の状況は。

	保有者率	1人あたり虫歯数
1歳6ヶ月検診	18.6%	0.23本
3歳児検診	69.4%	3.72本

(平成13年度幼児健診から)



身体障害者巡回相談会の実施について

日時: 7月12日(金)
受付: 午前9時30分から12時まで
場所: 玖珠町メルサンホール
内容: 医師の診断による障害の認定(肢体不自由・聴覚障害・視覚障害) 補装具・日常生活用具の相談 施設入所等の総合的な相談
 *診断料・相談料は無料です。

問い合わせ先: 保健福祉課ふれあい福祉係
 ☎ 6-3802

年金の支払(振込)通知書が送付されます

年金を受けているみなさんにお送りしています支払通知書・振込通知書(ハガキ)は、初めて年金が支払われるときに送付され、それ以降は毎年6月(年一回)に、翌年4月までの毎回支払われる金額が記載されて送付されます。

また、年金額が変更となった場合の通知書は、その都度送付されることになっています。

なお、支払日(15日)が土曜日または日曜日等で金融機関が営業していない場合は、その前日が支払日となります。

※通知書は大切に保管しておきましょう。

お問合せ先 保健福祉課 ☎ 6-3802



合併浄化槽で環境保全と 快適な生活が実現

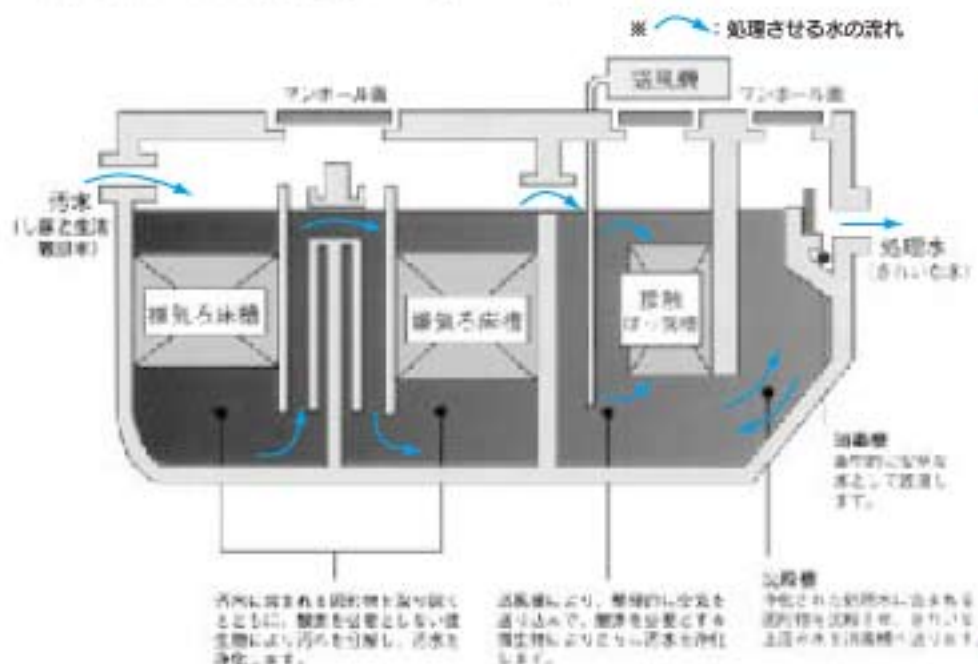
家庭から流れる台所排水や洗濯排水など（生活雑排水）で河川が汚されています。し尿と生活雑排水もあわせて浄化する合併処理浄化槽を設置しましょう。合併処理浄化槽を設置する家庭には補助があり、現在申請を受付中です。

詳しくは、住民課環境保全係にお問い合わせください。 TEL 6-3801

合併浄化槽って一体ナニ？

台所やお風呂の生活雑排水をし尿とあわせて処理できる浄化槽のことです。

※生活雑排水を未処理で流す単独処理浄化槽の設置はできません。



燃えやすい物が安全な場所を選ぶ
ロケット花火やネズミ花火の花火が付近の可燃物に着火し火災となった事例が多く見られます。周囲に注意しましょう。

注意書を必ず読む

燃えカスやそのままだけでためたために火災となった事例があります。燃えカスは確実に消火しましょう。

水の入ったバケツなどを用意する

火災が一度に燃えることとなり大変危険です。

点火したりしない

花火をほくしたり、数本束ねて

物に向けてないよう注意する。

子どもだけで花火をしない

必ず大人が付添い、人や建

物に向けてないよう注意する。

気象状況に注意する

風の強い日や乾燥している

時は花火をしない。

夏夜の風物詩といえる花火ですが、たかが花火と思わず、安全に楽しむため、必ず次のことに注意しましょう。

火災の防止

花火による

119番



男女共同参画 社会をめざして

1シリ
ズ

Vol. 77

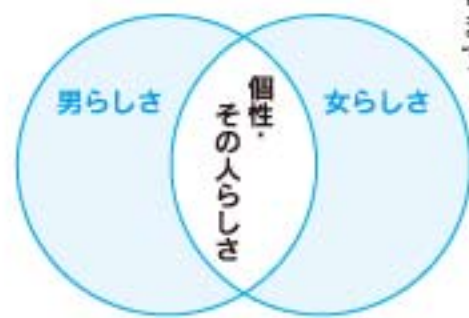
もうひとつの『らしさ』

藤澤 美 保(岩の上)

「生物学的な性差に対して、文化的社会的に作られた性差をジェンダーと言います。いわゆる『らしさ』というものです。」
これは、女性セミナー「ジェンダーフリーの教育とは」の序文です。男女共同参画社会をめざす上で、男らしさ、女らしさとは内に「男のくせに、女のくせに」という意味を含み、否定的にとらえられているようです。私は今使われている「らしさ」でない「らしさ」を考えたいと思っています。女らしさ、男らしさが相反するものであったり、接点を一つにする二つの円というようではなく、重なる部分を大きく持つ二つの円ではないかと思えます。大きく重なった部分は、その人らしさ、個性であり、両はじにそれぞれ残った部分は女らしさ男らしさと考え、その重ならない「らしさ」の部分もお互いが認め合い、尊重しあうことから男女共同参画社会が作ら

れたらいいと思います。

今、女性の社会進出が大きくなり、喜ばしいことですが「子どもを産み育てること」も決して個人的なことではなく、大きく社会に貢献している大事な仕事と思えるような社会になってほしいです。子育てをしながら、外でも安心して働ける社会の体制づくりと家庭の協力体制ができることを願うとともに、子育てを終えて働きたいという人々を暖かく迎えてくれる職場がたくさんあったらいいなという気がします。



初恋のきた道 上映会



多くの人々に感動の嵐を呼んだ珠玉のラブストーリー「初恋のきた道」が上映されます。
どなたにもおすすめできる本当に素晴らしい作品です。
ぜひご鑑賞ください。

2000年 中国=アメリカ合作
キネマ旬報2001年度読者選出ベストテン第1位



上映日：6月29日(土)
時間：①2:00 ②4:00 ③7:00
場所：九重文化センター
前売り券：1,000(当日1,100)円
高校生以下800(当日900)円
*鑑賞希望時間をご指定の上ご購入ください。
お問い合わせ先：九重文化センター(6-3888)
主催：九重町良い映画を見る会

この映画に寄せられた声から

- ★もう文句なし。主人公の途な気持ちに泣きました。
- ★100点満点の映画!
- ★ものがあふれている今日、こんなにも純粋で手作りの愛があるんだ、ということに感動しました。

大分県障害児教育巡回相談

障害のあるお子さんについての教育相談を行います。
日時：第1回 7月23日(火)10:30~15:00
第2回 10月29日(火)10:30~15:00
会場：日田教育事務所(日田総合庁舎)
相談の申し込み：九重町教育委員会(TEL6-3812)
までお問い合わせください。
*相談は無料で、個別に実施します。

田舎暮らし・ あたらしい生活

先月号より始めたこのコーナー、2回目の登場は、タペストリーアーティストの小中美栄子さんです。まず、タペストリーの紹介を。日本語に直すと、つづれ織り。毛糸などで絵を織り込んだもので、壁飾りなどに使われます。小中さんの作るタペストリーは、その中でも、もっとも伝統のある技法のひとつにより作られたものです。



小中 美栄子 さん

小中さんは、北海道出身。美術の勉強のためアメリカ留学中にタペストリーに出会い、その後衣装デザイナーや外国企業の

契約社員などを経て、2年前から九重町に移住。会社勤め時代もタペストリーを続け、96年頃からアメリカを中心に作品を発表しています。見事な作品群。しかし小中さんはこういいます「これは、自分の仕事とは思っていますが、他人から見ると趣味の域を出ないかもしれない。そんなに肩に力を入れているわけではなく、気楽にやっているの」

九重町に移住した理由を聞いてみると「まず第1に暖かい。私が住んだところでは寒いといっても北海道、バンクーバー、ポートランドときて4番目ですからね。野菜は自分で作っていますよ。野菜作りは、こちらに移住して初めて経験しましたが、楽しんで作っています。みそも作ります。去年は、移住仲間と米も作りました。」さっそく、小中さんの自宅菜園を見せてもらいました。20種類くらいの野菜を植えているそうです。

「自分で作った野菜のおいしさは格別ですよ。農作業を終えてサブ〜ンと温泉につかるのがシアワセ〜って感じですね。九重町を選んだ理由その2は温泉。」

でも一番の理由は、すでに移住している人たちを見て。良い意味でいいかげんだったんですよ、と小中さんは話します「自分のすべきことはきちんとした上で、良識あるっていうのかなあ、大人のいいかげんなんですよ。これなら私も大丈夫かなって。」

時間を守るとか生活していく上できちんと守っていかねばいけないルールというものがありますが、小中さんにとって大事なルールの一つが、プライバシーをきちんと守ること。「(故郷の)北海道っていろいろなところから移住してきた人でできたところなんですよ。だからあまりに他人の中に踏み込まないところがあるんですよ。アメリカも同じでしょ？だから北海道からアメリカの社会へは、すんなりとけ込みました。だから、悪気はないのはわかりますが、他の人から、いろいろと言われるのはイヤですね。他人を管理したがると思うか……」「でも近所の人とか、何か困ったときは遠慮せずに声をかけてね、といってくれるのはすごくうれしいです。」小中さんがうれしいと思うこ



▲小中さんの作品群です。
カラーでお見せできないのが残念！

▼製作風景
ウラから織り込むため
こういう風にカガミに
うつして製作します。



の距離感が大事なのかもしれません。これは、移住した人との間だけでなく、前から住んでいる住民同士にも言えます。「もちろん、地元の人たちも救いの神たちでした。物質的・精神的支援なくしては生きることにはできませんからね。ものすごく感謝しています」

どうせ田舎なんだからと、埋没している人が多いですよ、と聞くと「えーそうですか？田舎でどこが悪いって自信を持って生きていいと思いますよ。今は、インターネットなどで、東京などとの情報格差はなくなっています。自分から働きかける姿勢が大事だと思いますね。ここだけの世界に埋没せずに、広く視野を持つ必要がありますね。」

ちょっと話をお伺いするはずが、あっという間の1時間半。日本人は、本来、いろいろな考え方を受け入れることができる、自由さ(余裕)を持っているのかもしれない、というような話もしました。

「埋没しない自分、どこでも通用する自分でいたいですね。」と話す小中さん。

自由でいることの自信、小中さんと話していると、そんなことを感じました。

*小中さんは、文化センターでタペストリー教室を開いています。

新しい生き方の提案 図と水と大地のまつり

7月20日(祝) 朝10時より(19日前夜祭、21日後かたづけ)
場 所: 原人の里(飯田高原やまなみ牧場近く、当日看板あり)

田舎暮らし紹介、アジア舞台、有機無農薬農産物、
天然酵母パン、アコースティックライブ、
フリーマーケット、自然エネルギーほか

参加料: 500円(18歳未満無料)

食器と密着参でお越しください。

お問い合わせ: 7-7577

または 090-4994-9472 (古岡さん) まで

棚田

日本の昔ながらの田舎風景を思い浮かべるとき、多くの人が山間の棚田を思い浮かべるといいます。棚田は、山間の傾斜地を切り開き、石を積み重ねて谷の水を引いて作られています。1枚1枚の水面に写る月は「田毎（たごと）の月」と呼ばれ親しまれています。

南山田の中板地区では、その棚田が今でも立派に残されています。

この地区の棚田、古くは、江戸時代そのまま残っているものもあり、大正時代には、現在の形となり、今に伝えられています。

「これは地球遺産ですよ」棚田の撮影に行ったとき、ちょうど矢野成美さん（74歳）が田んぼで作業中でした。矢野さんは、10歳ぐらいから田んぼに入っている、ということなので、もう60年以上、この棚田と過ごしてきたことになります。



▶ 矢野成美さん

棚田は石垣の手入れも大変です。「昔は手で草をむしりよったよ。高いところははしこを掛けたりしていた」。今は機械がありますが、昔は人力や牛の力が主でした。「戦争中は、塩がなくてねえ。塩分が足りないと感じないらしくて、牛はふらふらしているのに、何回も叩いてねえ。むげねかったよ」。「農繁期は朝の4時から夜の10時まで田んぼに出よった。田植えの時、女の人は、2時から起きて。今では考えられねえ。田植えは、雨が降ってもするんで全然休みもなかった」楽しみといえば、盆と正月くらいだったそうです。千ばつの年もあり、小倉岳に登って雨乞いをしたことも。「昔は、よく万年山の頂上に登って棚田を見たですよ。美しいなあ、と」矢野さんによると、1ヘクタールの田んぼがあったとき、米だけで生活できたのは、昭和35年頃くらいまでだったそうです。やはりこの地区でも後継者問題は深刻です。矢野さんによると、15年後、この棚田のうち3分の1残ればいい方であろうと言うことです。棚田ゆえに効率的な農作業も難しく、後継者不足に拍車をかけているようです。この美しい棚田があと何年残るのか。矢野さんの表情にも一抹の寂しさが浮かんでいました。

第3回 おおいた棚田写真コンテスト募集

日本の原風景である「棚田」の風景を感じるままに撮影し、その美しさをみんなに伝えてください。

*応募規定

撮影場所：大分県内の棚田

作品規格：四つ切り（約25cm×30cm）

サイズ（四切、第四切、ワイド四切可）

（ウラに応募票を貼り付けてください）

応募票は、自作でもけっこうです。

その他：応募作品は未発表のものに限ります。

応募作品は返却しません。入賞作品の版権は主催者に帰属します。

入賞された方は、フィルム等の提出をお願いします。

*締切 平成14年9月30日（当日消印有効）

*送 先 〒870-8501

大分市大手町3-1-1

大分県農政部農村整備課内

「おおいた棚田写真コンテスト係」あて

または、玖珠九重地方振興局へ提出してください。

*問い合わせ先 電話 097-536-1111

（内線3707または3708）

農村整備課 地域整備係

「おおいた棚田写真コンテスト担当」

*審査発表

10月上旬に行います。また、今後のイベントの展示やパンフレット等への掲載を予定しています。

*お願い

棚田は、農家のみなさんの大切な生産の場です。田や畦に無断で入らないようにお願いします。



ま ち の 話 題

歌の贈り物

4月23日、町内の高齢者施設、シルバーランドメルヘンとケアポート 溪和で、大分市在住のグループ「渡辺敦とザ・サウンド・オブ大分」による慰安演奏会が開催されました。このグループ、県内の福祉施設など約10カ所を回り、ボランティア演奏をしています。リーダーの渡辺敦さんは、29歳の頃（昭和35年頃）まで、九重町に在住。「当時は地元でバンドを作ることが夢でした」。凱旋公演ですね、にうれしそうな笑顔が。奥さんの律子さんも司会とハーモニカで参加。今までで一番うれしかったことは？の質問に律子さんは「老人ホームで3ヶ月意識がなかった人の耳元で荒城の月をハーモニカで吹いたんですね。そうしたら、バツとその人は目を覚ましたんですよ。今では元気に車椅子で生活していますよ」。この日も重囀を主に15曲を演奏。シルバーランドメルヘンでは60名を超える利用者が演奏に合わせて歌いました。背くらべの演奏の時には、母親を思いだして涙ぐむ人も。「帰るとき、手をつなぎ、またいつくるのか、反対に励まされることが多いですね」と律子さん。誰もが持っている「思い出の歌」の力強さを改めて感じたひとときでした。



▲右が渡辺敦さん



高倉ハナさん▶

(下駄4)

「小学校の頃から歌うのが大好きでした。女学校の頃はコンクールにも出ていたんですよ。今日はとてもうれしいです。」

ま ち の 話 題

釜の口第2温泉



飯田なかよし広場に釜の口第2温泉がオープンしました。これは、釜の口温泉の利用者が多くなったため建設されたものです。4月24日には落成式が行われ、その席で町長は、「九重町には300もの温泉がある。これからは、自然などを利用した町づくりを行い、現在、毎日1万5千人の交流人口を1万8千人に増やし、町民1万2千人と併せて3万人が交流できる町にしたい」とあいさつ。建物の設計は、衛藤航太さん（奥双石）。衛藤さんは、「田舎の定宿をイメージしました。地元の人と話をしながら昔風の利便性にしました」。衛藤さんは、温泉館「見晴らしの湯」の設計も担当。温泉館は、ほたるをイメージしています。釜の口第2温泉は、水で薄めたり加熱したりしてない100%温泉で、釜の口温泉と同じく、うす茶色の個性的な温泉です。営業時間は、午前9時から午後9時まで。無料。

ま ち の 話 題

寿大学入学式

▼今年の新入生のみなさんです



4月25日、寿大学の入学式がありました。寿大学は、昭和46年6月に開学、自らの足で歩き、自らペンを取り、自らで見、聞く姿勢で多くの高齢者が学んでいます。副学長（寿大学学部長）は、寿大学は、国内だけでなく、海外でも高い評価を得ており、生涯学習の模範といえる。いきいきとした大学生活を過ごしてほしい、とあいさつ。続けて、来賓の仲摩教育委員長は、心により生き方をすると、体にも良いとした上で、サミュエル・ウルマンの青春という詩を引用しながらあいさつ。また安部町議会議員は、時代の流れは昔がかったつわりの速度だとすると、現在はジェット機の時代だとし、激動時代を生きてきたみなさんは5代を生きていると言ってもいいのではないかと述べ、最近進んだ国の研究を取り上げた上で、今日も1日がんばるぞ、長生きするぞ、と（心の中でなく）声に出して言うぞ、本心に元気になると、がんばれる。ぜひみなさん声に出して実行してください、とあいさつしました。寿大学、今年の入学は18名、在校生と合わせて154名がこれから1年間学びます。

まちの話題

山の警察隊初隊式

夏山シーズンを迎え、今年も山の警察隊隊式が5月13日、泉水グリーンパークで行われました。九重連山は、毎年多くの登山者で賑わっており、その数70万人(年間)となっており、その数70万人(年間)件数も年間15件程度が出ており、県内の避難件数の85%がこの地域に集中しています。避難者の救助活動に当たるため、山の警察隊は、玖珠警察署管内では、昭和31年に結成、これまでも多くの人の命を救ってきました。この日の隊式には、玖珠及び竹田直入地区から35名が参加。式終了後には、県警航空隊や玖珠消防署も合流、転落事故を想定した実演さながらの訓練が行われました。

高橋裕二さん
(中村上)

▲訓練風景

▶約20年間活動しています。道を知っている自分たちが先頭に立って救助活動を行うのだ、という心構えでがんばっています。夜中などに出ることが多いので、いつでも出勤できるようにしています。今まで一番大変だったのが、祖母で女の子が行方不明になったときで、11日間出ましたよ。一番うれしかったことがやはり避難者が無事だったときですね。

まちの話題

若者定住アドバイザー

男女の出会いの場を作るなど若者定住のための支援を行う「若者定住アドバイザー」の委嘱式が5月9日に行われました。今回委嘱されたのは、昨年に続き4名。さっそく今年の取り組みについて話し合われました。昨年は、「春よ来い！結婚大作戦」が行われ、4組のカップルが結婚するという大きな成果がありました。コンピネーションパーティーなどを行ってきました。今年度についても要望もあり、何らかの取り組みを行うことを確認しました。町内には、男性だけでなく、女性の未婚者も多いのですが、出会いの場が少なく、結婚も難しくなっているようです。一時的な取り組みだけでなく、継続的なグループ活動を支援するような取り組みを行うことも必要ではないか、等の意見が出されました。



今年の若者定住アドバイザーは、次のとおりです。
若松平八郎さん (代表)
(中央)
渡邊 和子さん (湯戸)
甲斐 巴さん (筋瀬)
日野 武さん (北恵良)

まちの話題

またまた春が来ました
おめでとうございます甲斐成人さん
♥田中恵美子さん小野政嗣さん♥
中澤真樹子さん

に事故で亡くなりました。当日は、三八さんの遺影がしっかりと息子さんに抱かれていました。

若者定住アドバイザーの記事の中でも紹介しましたが、昨年行った「春よ来い！結婚大作戦」が、残り2組についても4月21日に結婚式が行われました。今回は、小野政嗣さん・中澤真樹子さん(若手奥出身)の結婚式取材しました。印象的だったのが政嗣さんの母、信子さんの涙です。「涙が出るほどうれしいです。息子は一入子で、このままひとりで生きていくのかなあ、と思っていました。こんないい人と結婚してくれて本当にうれしいです」。政嗣さんの父、三八さんは、平成4年



九重町消費生活研究会総会開催

5月1日に消費生活研究会総会が会員多数の出席のもと、開催されました。

この会は、1971（昭和46）年に設立したもので、30年の歴史を持っています。これまで地道な活動ではありましたが、かしこい消費者となるよう学習を重ねてきました。今年度は、私たちの身の回りの環境問題をテーマに研究を深めますので、誰でもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

連絡先 九重町役場商工観光課 TEL.6-3150

〈役員体制〉

会長 穴井 鶴代さん 副会長 宇都宮 千代さん
書記 菅家 光子さん 会計 田中 美美さん
監査 後藤 喜久子さん

【計画】

1. 講演：ゴミの減量化（5月1日開催済）
2. エコクッキング（11月予定）
3. 講座：これからの食生活（1月予定）

町営住宅募集のお知らせ

募集住宅 青山住宅 1戸
申込期限 平成14年7月5日（水）
申込先 建設課計画管理係
(6-3811)



道路交通法の一部改正 ～平成14年6月1日施行～

先月号でも紹介しましたが、道路交通法の一部が改正されました。今回は、主な行政処分点数の引き上げを紹介します。

項 目	改 正 前	改 正 後
故意による死傷にかかる交通事故又は危険運転致死傷罪に当たる行為をした場合	35点	45点
酒酔い運転・共同危険行為等禁止違反	15点	25点
無免許運転	12点	19点
酒気帯び運転（0.25mg以上）	6点	13点
酒気帯び運転（0.15mg以上0.25mg未満）	点数なし	6点
ひき逃げ	10点	23点
死亡事故	13点又は9点	20点又は13点
重傷事故（3ヵ月以上）	9点又は6点	13点又は9点

* 危険運転致死傷罪とは、①アルコールや薬物の影響により、運転操作を的確に行うことができない状態での運転②車の進行を制御することが困難な高速度や初歩的な運転技能（ブレーキ操作ができない等）を有しない状態での運転③人又は車の通行を妨害する目的で、危険な速度での割り込みや幅寄せなどの行為をする運転④危険な速度で赤信号を故意に無視した運転、のいずれかで死傷事故を起こすことです。

* 共同危険行為等禁止違反とは、2人以上の自動車又は原動機付自転車の運転者が、道路において共同して2台以上の自動車又は原動機付自転車を連ね進行、又は並進して通行した場合に、他の交通に著しく危険や迷惑を及ぼすことを言います。

交通安全

平成14年町内地区別事故発生状況（集計、集約）

地区別	人身事故 死者 負傷者 件数	物損 事故 件数	計
東飯田	0 7 5	13	18
野上	1 19 11	37	48
飯田	0 38 19	121	140
南山田	0 9 4	43	47
計	1 73 39	214	253

（平成14年5月末現在）

受講料無料

くらしに身近な金融講座

通信講座開講のご案内

《受講者募集要領》

- 受講期間** 平成14年9月～12月(毎月テキストを送付)
- 受講費用** 無料 ただし、受講者が添削課題を送付する郵送料は受講者負担。
- 申込方法** 郵便ハガキにて、①お名前(ふりがな)、②年齢、③職業、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号を明記のうえ、下記申込先までお送りください。
- 郵送先** 〒130-0026
東京都墨田区両国2丁目4番8号
パシフィックロイヤルビル1階
「くらしに身近な金融講座」係
- 問い合わせ先** 大分金融広報委員会 ☎097-532-7666
- 応募の締切** 平成14年6月28日(金)必着

あなたのボランティアを聞かせてください!

ボランティアをするみなさんに
「ありがとう」を贈ります。

ブルデンシャル・ボランティア賞(アワード)応募受付中
応募者には、全員に「感謝状」と「スペシャルピンバッジ」を贈ります。また、受賞者をブロック表彰式にご招待。他のボランティアをする青少年と情報交換してください。

応募内容 あなたのボランティア活動の様子、そこで得たこと、学んだことを応募用紙の項目にそって書いてください。

応募締切 2002年9月20日当日消印有効

対象 応募時に12歳から18歳の青少年のみなさん

応募用紙請求先/お問い合わせ先

ブルデンシャル・ボランティア賞(アワード)事務局
☎ 03-3221-1072 / volunteer@prudential.co.jp
www.spiritofcommunity.org
(HPからでも応募用紙の入手できます)

平成14年度銃砲刀剣類登録審査会日程

審査日 7月10日 9月11日 11月13日
1月15日 3月12日

時間 10:30～16:00

会場 大分県総合庁舎6階61会議室

※ただし、12:00～13:00は昼休みです。

※都合により会場が変更になる場合もあります。

- 「銃砲刀剣類登録証」がついていない古式銃砲や刀剣類は所持できないので、必ず県教育委員会の銃砲刀剣類登録審査会に出向き、登録証の交付を受ける必要があります。
- 会場には、現物と発見届出済証・登録手数料(1件6,300円)を持参してください。代理人でも結構です。(ただし家族以外の代理人は、委任状が必要です。)
- 登録証を紛失した場合は、登録証の再交付を受けなければなりません。(再交付手数料:1件3,500円)
- 未登録物件の所持・売買はできません。
- 銃砲刀剣類の登録に関する問い合わせは、県教育庁文化課に願います。
☎ 097-536-1111 (内線5496)

平成14年度初心者狩猟講習会の開催

日時 甲 種 7月31日(水)10時～17時
乙・丙種 8月1日(木)・2日(金)
10時～17時

場所 大分市大字下郡「大分県教育会館」

講習内容 法令、狩猟鳥獣の判別、猟具の取扱い、実技

受講料 甲、乙、丙、乙丙は、各々7,000円
甲乙、甲丙、甲乙丙は、各々9,000円

受付期間 7月9日(火)～7月23日(火)

申込み先 大分県猟友会玖珠支部
福 恵(ふくめぐみ)さん ☎ 2-0091

サマージャンボ宝くじの賞金は、 1等・前後賞合わせて3億円! 2等も1億円!

1 等 2億円×43本
前後賞 各 5,000万円
2 等 1億円×129本

この宝くじの収益金は市町村の明るく住み良い街づくりに使われます。発売期間は平成14年7月22日(月)から8月9日(金)まで。

『青少年国際交流キャンプ』参加者募集

- 期 間** 7月31日～8月4日(4泊5日)
- 場 所** 山梨県山中湖村山中湖キャンプ場
- 対象と定員** 小学4年生～中学3年生 220名
- 申し込み締切り** 7月5日(金)先着順受付
- お問い合わせ・資料請求先** (財)国際青少年研修協会
☎ 03-3359-8421

税務職員(税務大学校生)募集

試験の程度 高等学校卒業程度

受付期間 6月19日(水)～6月26日(水)
(消印有効)

問い合わせ先 日田税務署 ☎ 0973-23-2136

住宅金融公庫からのお知らせ

住宅金融公庫のローンをご返済中の方へ

ローン返済でお困りの方(倒産など勤務先の事情により収入が減少した方、家業の不振により収入が減少した方、病気やけがなどにより支出が増加した方等)については、返済月額を軽減する場合があります。

ご返済中の金融機関または住宅金融公庫に、遠慮なくご相談下さい。

住宅金融公庫南九州支店 ☎ 096-387-2000

平日: 9:00~17:00

第1、第3日曜: 10:00~17:00

知識のユニバース 「放送大学」

平成14年度

第2学期学生・大学院修士科目生(10月入学)学生募集

募集期間 ・教養学部・大学院修士科目生

平成14年6月15日(土)~8月15日(木)

・大学院修士全科目生(平成15年度)

平成14年9月1日(日)~9月14日(土)

※尚、視聴方法、特長、学費などに係る詳しいことは、下記宛にお問い合わせ下さい。

『募集要項』(無料配布中)等をご送付いたします。

資料請求・問い合わせ先

放送大学大分学習センター

〒870-0868 大分市野田380

(別府大学大分キャンパス内)

☎ 097-549-6612 FAX.097-549-6621

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/hp>

資料は無料で郵送します。

現在、無料体験入学実施中です。ご希望の方は、事前にお電話ください。

火薬類取締法に基づく資格試験の公告

試験場所 大分市日本文理大学

試験日時 平成14年8月25日(日)午後1時

受験願書提出期限 平成14年6月25日~7月4日

(簡易書留による郵送の場合は締切日の消印のあるものまで有効)

試験案内・受験願書等請求先

社団法人 全国火薬類保安協会

大分県試験事務所

〒870-0045 大分市城崎町2丁目1番5号

司法ビル203号

社団法人 大分県火薬類保安協会内

☎ 097-534-0771

大分県ニューライフアカデミア学生募集

健康で充実した、「生きがい」のある人生を築くために
……楽しく学び続けましょう!

高年大学校 「20期生」(平成14年10月~)

婦人大学校 「20期生」(平成14年10月~)

を募集します。

高年大学校 55歳以上の方

月2回の学習を2年間履修

学習費は年間3,000円(教材費は実費、別途)

婦人大学校 30歳以上の女性

月2回の学習を2年間履修

学習費は年間3,000円(教材費は実費、別途)

募集受付期間 平成14年7月2日(火)~8月23日(金)

「入学願書」は下記窓口で、6月中旬より配布します。

募集受付場所 九重町生涯学習センター

お問い合わせ 大分県立生涯教育センター(月曜は、休館日)

☎ 0977-22-7763 FAX 0977-26-4564

無料日曜公証法律相談

相談担当 日田公証役場公証人 ☎ 0973-24-6751

7月: 7日・21日

8月: 4日・18日

場 所 日田公証役場

(日田市田島2丁目 市役所前交差点南東角)

相談内容 遺言、相続、売買、土地境界、離婚給付、不動産賃貸借、金銭貸借、任意後見など

相談時間 午前9時~午後5時 一人1時間程度

予約が必要です。

第2回家庭介護者公開介護教室

日 時 平成14年7月6日(土) 13:00~15:00

テ マ 「失禁のおはなし」

講 師 今丸 満 美 氏

申込締切 6月29日(土)

定 員 150名

参加費 無料

申込み 電話又はFAXにてお申し込みください。

☎ 097-552-6888 FAX097-552-6868

大分社会福祉介護研修センター

今月の 年金相談

日時 6月25日(火)10:00~15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税 納期限7月1日

【国民健康保険税】 6月分

【町県民税(住民税)】第1期

歳時記

季題

7月号

「梅雨」

「夏」

「夕焼」

「花火」

「墓洗う」

8月号

「花火」

「墓洗う」

7月26日(日)切

今月の季題

「明け易し」

「植田(田植)」

「螢」

田植かな農機の音かこだまする
機械音さわやかかなりし田植かな
田植してお疲れさまと夫に告げ
田植するその遠望に英彦の山
田植笠哇に腰かけ声となる
日曜日家族総出の田植かな
車座の昼餉のどかに田植かな
田植終え山里に住む幸せを
田植して灯点し頃の家路かな
瀬の音の孫の名づけし螢川
聞螢はかなき命灯しつつ
愛犬の瞳に光る螢かな
谷をきて網戸に灯る螢かな
明易の窓に小鳥のこわだかに
手をのびし間に螢の灯を掬う

俳聖松尾芭蕉は「不易流行」を説きました。不易は「変わらない」、流行は「変わる」ことです。俳句での不易は五七五リズムで四季に寄せて心を詠むこと、流行とは田植や稲刈りにもエンジン音や携帯電話等の新しい場面や言葉を取り入れることでしょう。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係までご応募を。

湯浅加代子
吉武 コト
穴井久美子
小野十三日
井上 マキ
佐藤 元八
佐藤 節代
小野ミツノ
日野千代子
玉井多喜子
田浦 重雄
佐藤 修正
佐藤イツ子
佐藤 あき
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

発見と再発見

吉野神社 本殿

Vol.96

文化財調査員 甲斐素純

大分県では、昭和61年度に「大分県近世社寺建築緊急調査」を実施し、その成果は大分県文化財調査報告第74輯「大分県の近世社寺建築」(昭和62年3月)として発刊されている。筆者もそのおり、当町内の予備調査を担当し、その記録に基づいて本調査がなされ、本報告書の中に記載された九重町内の社寺は、計三社で

あった。その三社とは、右田の「下旦天満神社」、町田の「小倉神社」、後野上の「吉野神社」である。
本書により吉野神社の建築概要を紹介すると、「本殿一間社流造、千鳥破風付、軒唐破風付、鉄板葺、浜緑浜床付、覆屋付、元禄年間(社伝)」とあり、総ケヤキ造りの極彩色社殿である。同神社は後醍醐天皇を祀り、正治元(1199)年の草創と伝えられる。内部は、「背面に高欄を設け、一間社流造、段板葺、漆塗りの宮殿」を安置する。覆屋があるため、保存状態も比較的良好。本書の著者は、「千鳥破風、軒唐破風付きの社殿と

しては、今回の調査では古いものである。漆塗宮殿も珍しく、良く整っている。ちなみに宮殿は宝暦5(1755)年の建立で棟札が残る」とある。以上のように、全県下の調査結果からも、高い評価を得ている神社建築であることが伺われる。
宮殿の棟札によると、宮殿の代金は銀250目で、京都で製作されたようで、京都より大阪まで、大阪より中津までの船賃、大阪入用費を含めて計259匁6分の経費がかかっている。願主は、助之丞、左右衛門で、以下関係者の金額と名前が記されている。



吉野神社本殿と調査担当者

人の動き

お悔やみ申し上げます

おめでとうございます

出生

5月1日～5月31日届出分

人口と世帯

人口 11,933 人 (-10)
男 5,704 人 (-2)
女 6,229 人 (-8)
世帯 3,870 (+10)
() は前月との増減

おなまえ	性別	保護者	行政区
甲斐 亮太	男	昌宣	下旦5
佐藤 駿也	男	啓伍	南区
中川 翔	男	徳孝	川下北
赤峰 広毅	男	正勝	湯坪下
佐藤 円香	女	誠	川東上
甲斐 心羽音	女	貴也	青山住宅
小野 友希	女	日出治	野倉
太田 翔	男	勇	豊後中住宅

おなまえ	年齢	行政区
學次夫 兒子雄一子シ徳子 義利 眞雄ノ	70	豊上垣上口三下一上寺下二村石村
福定 國梅 松健安ト元ル 政性 カイ	84	野のの日向東泉東曲治原本双本
日梅 川森 中穴 楓 松財 松佐 安佐 木森 梅	71	中串小岩壁下日川川宝川書引菅奥菅
	82	
	75	
	86	
	68	
	69	
	89	
	52	
	89	
	55	
	77	
	83	
	68	
	94	



来ちよくれ
見ちよくれ

観光インフォメーション

農産物の出荷

7月7日(日)

電神もちの配布などがおこなわれます。

ラベンダーフェスタ in 九重

7月13日(土)～14日(日)

九重ラベンダー園で開催

野上祇園

7月20日(土)～21日(日)(予定)

中村商店街を祇園山が練り歩きます。

下旦祇園

7月20日(土)(予定)

下旦周辺で開催。子ども祇園山など。

九重町の海開きフェスティバル

7月21日(日)

安全祈願法要、海すべり大会など

九重町観光協会(役場商工観光課内)

☎03150 FAX02247

九重ふるさと館観光案内所

☎05510 FAX05511

くじゅう飯田高原観光案内所

☎02381 FAX02381

九重町ホームページアドレス(URL) <http://www.coara.or.jp/~kokonoe>

町長と語る ふれあいタイム

7月のお知らせ

7月 27日
(第4土曜日)

午前10時から午後4時まで。
九重町役場で行います。
お気軽においでください。

雄大な自然と温泉のある九重町に、都会から移住したいという方が多く、空き家を探しています。
家と田舎を借りバイトと農業で自給自足の生活をしたい、技術を習得しながら木工業をやりたい、手づくりのケーキをつくりたいなど様々なニーズがあり、活力ある町づくりのためにも、受け入れたいので、空き家などの情報を企画調整課までご連絡ください。
☎6-3807 (直通)

編集後記

◆今回は、市町村合併問題を機に持ってきた。読んでみると、合併した後のデメリット(欠点)が、具体的にのに対して、メリット(利点)は、抽象的な印象があります。デメリット、という点ではデメリットに分があるでしょう。デメリットは、今あることに、こんな不具合が出てきますよ、というのだから、実感が伴い、説得力が出てくるのです。反対にメリットは、これから作っていくもの、いわば、可能性を秘めた夢です。具体性が薄くなるのです。◆しかし合併しないでも夢が潰れるわけではありませんが、合併するしない「どちらの夢」にかけるか、住民のみならずと話さなければなりません。その上「こんな夢」を描くか住民のみならずと話さなければなりません。6月下旬からの熊鷹合戦は、ぜひ参加して、みなさんの「まちづくりの夢」を聞かせてください。◆先月の広報を発行したところ、さっそく活字が小さくなった、とのご指摘をいただきました。そのため、今回は、文字のスペースを広げるなどを行ってみました。しかし、かなり削ったのですが、相変わらず文字が多いです。さらに改善していきますが、現時点では、「わかりやすい文章を心がけていますので、読んでください」とお願いするのみです。◆内容については、お褒めの言葉もいただきました。大変うれしかったです。これを励みにがんばります。しかし、文字はなるべく少なく、です。◆今回もたくさんの方に取材協力をいただきました。ありがとうございました。(広報)

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ

資源保護のため広報ここのえは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。R100